M.I.E.(Movie In Education) 知って、観て、学ぼう！
～地域の方と学んで楽しむ映画上映会です～

『ハルコ』『マリアのへそ』『61ha　絆』
野澤和之監督作品

ドキュメンタリー映画

がんと生きる言葉の処方箋

全力を尽くして
心の中で
そっと心配する

明日この世を去るとしても
今日の花に水をあげなさい

がんに罹っても
明るく生きる人々がいる。
そこには心を癒やす
言葉の処方箋が溢れていた。

2020年2月16日（日）

自主上映会開催

主催：NPO法人MOTHER SHIP

主演：樋野興夫　宗本義則　春日井いつ子　齋藤智恵美　中村航大

プロデューサー：田寺順史郎　協力プロデューサー：並木秀夫　上田幸伺　青柳志保　源川達也　企画協力：岡田宏記　撮影監督：堂本昌宏　撮影：吉田誠　森山弘喜　撮影協力：芹澤哲也　録音：深野千穂　編集：平井将人　音楽：合田享生・t&kプロジェクト　MA：竹山公一郎　宣伝/広報：湯浅俊夫　執行敬昌　監督：野澤和之　企画協力：株式会社オーバル・アドバタイジング　製作協力：インタナショナル映画株式会社　2018年日本／カラー／HDV 16:9／ステレオ／90分

製作・配給：©2018がん哲学外来映画製作委員会　委員会事務局 E-mail: gantetsu@eiga2018.jp TEL: 03-5216-8918　FAX: 03-5216-8914

副作用はゼロ！
人生を変える「言葉の処方箋」

ドキュメンタリー映画

がんと生きる 言葉の処方箋

がん哲学外来提唱者　樋野興夫 教授

順天堂大学医学部教授。専門は病理学・腫瘍学。医学と哲学を結びつけることを考えていた経緯から2008年順天堂大学にがん哲学外来を開設。医療の隙間を埋めるべく言葉の処方箋を処方し続けている。2018年日本対がん協会朝日がん大賞、日本癌学会「長与賞」受賞。

解決は出来なくても、解消は出来る

〈あらすじ〉

がん哲学外来から発展してできたのが、がん哲学外来メディカル・カフェ。全国のカフェで講演を続ける樋野教授。樋野先生の考え方に共鳴してそれぞれにカフェを開設して元気に生きる4人の主人公たち。乳がんを経験して自分の生きる使命に気づいた女性。大病院でがん哲学外来を実践する外科医。乳がんを体験して地域の人々と悩みを分かち合うシングルマザー。脳腫瘍を体験した高校生は、病の子供たちのために役立ちたいとカフェを運営する。それぞれが、言葉の処方箋を投げかけあい、生きる力を作り出していく。がんに悩む人々が元気になるその瞬間、映画空間が明るく人々に語りかける。

病に苦しむ全ての人々に贈る映画

プロデューサーからのメッセージ

至る所でがんの話題が絶えません。この作品を通して病に苦しみ、悩む全ての人々に生きる勇気と希望を感じてもらえればこの上なく幸せです。　田寺順史郎

監督：野澤和之　プロフィール

文化人類学を学んだ経験から文化社会の周縁にいる人々を描いた作品が多い。代表作に在日一世を描いた「ハルコ」。元ハンセン病夫婦の物語「61ha 絆」など。自らも大腸がんを体験、執念の作品となった。

お問い合わせ：がん哲学外来映画製作委員会事務局
E-mail: gantetsu@eiga2018.jp　TEL:03-5216-8918　FAX:03-5216-8914
製作・配給：©2018 がん哲学外来映画製作委員会
HP: http://gantetsueiga2018.amebaownd.com/

特別協賛　共創未来グループ　東邦ホールディングス株式会社

協賛　SVENSON　FBC 福井放送株式会社

2020年2月16日（日）

定員：各回40名/自由席

料金：高校生以上（事前申込）1,000円

＊お電話などでの事前申込分も対象となります。2月7日まで

（当日）　1,500円

① 8：30開場　9：00上映
②17：30開場　18：00上映

会場：街カフェCOCOON　JR西立川駅徒歩６分
東京都立川市富士見町1-26-10　コミュニティビル安庵2階

問合せ・予約：電話・メール・ウェブのいずれかでお申込ください
☎042-527-1454　✉information@m-ship.net
https://www.kokuchpro.com/event/m_i_e_kotoba/

申込フォーム